

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	富士見公園南側(川崎富士見球技場他)	評価対象年度	令和6年度
事業者名	・事業者名 川崎フロンターレ・東急コミュニティー共同事業体 ・代表者名 代表取締役社長 吉田 明宏(川崎フ) 取締役社長 木村 昌平(東急) ・住所 川崎市高津区末長四丁目8番52号(川崎フ) 東京都世田谷区用賀四丁目10番1号(東急)	評価者	みどりの管理課長
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課

2. 事業実績

利用実績												
収支実績												
サービス向上の取組												

※富士見公園再編整備のため、令和5年4月1日～はぐくみの里を閉鎖して運営。
※富士見公園再編整備のため、令和6年1月1日～第1・2駐車場を閉鎖して運営。

※富士見公園再編整備のため、令和6年度1月～富士見第1・2駐車場を閉鎖して運営。

●富士見公園再編整備のため、令和5年4月1日から、運動広場(市民広場)、こども広場、コミュニティガーデン「はぐくみの里」を閉鎖し、指定管理範囲を縮小して運営を行った。
●富士見公園再編整備のため、令和6年1月1日から、第1・2駐車場を閉鎖して運営を行った。
●富士見公園南側(川崎富士見球技場他)指定管理業務の第2期の5年目であり、集客規模の大きいイベントや競技の大会を開催し、知名度や集客向上に向けた取組を実施している。
●各種競技団体による大会等の利用調整について、主体的に取り組んでいる。
●指定管理エリアの縮小後も、指定管理者による公園全体の1日4回の見回り及びカルッツ川崎や競輪場等の近隣施設と合同で富士見公園周辺の清活動を行う「フロビカ」を毎月実施し、公園美化の関心度を高める取組をした。
●施設の維持管理、設備点検、緑地管理、園内清掃、樹木管理や巡視を適切に行い、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。
●利用者ニーズを把握するためにアンケートを実施し、翌年の事業に反映している。
●富士見公園再編整備のため公園利用可能範囲の変更があったが、利用サービスの低下を防ぐため、新たな運用方法の検討及び利用者に適切に周知を行うとともに、工事への対応や安全な動線の確保・整備を行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	3	6
		2 利用者満足度は向上しているか			
		3 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(評価の理由)				
	【利用者満足度】 ●利用者満足度調査をアンケートにて「とても満足」、「満足」、「普通」、「不満」、「とても不満」の5段階で実施し、106名の回答者に対し公園の安全性は91%、園内の清潔さについては99%が満足以上の結果となり高評価である。 ●指定管理エリアの縮小後も、指定管理者による公園全体の1日4回の見回り及びカルッツ川崎や競輪場等の近隣施設と合同で富士見公園周辺の清活動を行う「フロビカ」を毎月実施し、公園美化の関心度を高める取組をした。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	4 計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3	4.8	
		5 支出に見合う効果は得られているか				
		6 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	7 計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6	
		8 収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	9 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4	
		10 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ●富士見公園再編整備事業による環境変化への対応や人員体制変更に伴う引継ぎ等による業務量増加を受け、人件費が47,317千円(予算時から8,317千円、21.3%増加)となった。 ●全国都市緑化かわさきフェアの開催により、富士通スタジアム川崎及びかわQホールの貸出機会・自主事業を見直したことにより、自主事業費が6,959千円(予算時から1,301千円、15.8%減少)となった。 【収入の確保】 ●全国都市緑化かわさきフェアの開催に伴い富士通スタジアムの貸出時間が減少したことにより、利用料金収入が57,983千円(予算時から14,837千円減少、昨年度比5,325千円減少)となった。 ●富士見公園再編整備事業に伴い、令和6年1月から第1・2駐車場を閉鎖したことにより、駐車場収入が0円(予算時から72,600千円減少、昨年度比58,723千円減少)となった。なお、利用者は新たに再編整備された立体駐車場及び北側駐車場を利用しているため、サービスに影響はない。 ●その他収入の内訳について、再編整備に伴う指定管理エリア縮小したことによる市からの指定管理料11,676千円及び光熱水費等の物価高騰額補填額2,536千円によるもの。 【適切な金銭管理・会計手続】 ●委託料や維持管理等の必要な項目については適切に支出している。 ●金銭管理・会計処理について、適切に行っている。また、第三者評価を通じて金銭管理等についてチェックを行っている。					
	サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	11 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	5	6
			12 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
13 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか						
利用者の意見・要望への対応		14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3	4.8	
		15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
業務改善によるサービス向上		17 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	3	3.6	
		18 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		19 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
提案事業・自主事業の実施状況		20 施設利用者へのサービス向上及び利用促進につながる提案事業・自主事業を実施しているか	8	5	8	
	21 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか					
(評価の理由) 【適切なサービスの提供】 ●富士通スタジアム川崎における取組について、周辺住民の要望からはじまった「富士通スタジアム川崎夏祭り(延べ来場者数2,444名)」を開催し市民と協働で創り上げる企画・イベントで富士見公園一帯の賑わいを創出した。(富士通スタジアム川崎) ●かわQホールにおける取組について、多様な市民・地域住民に親しんでもらえる施設として、ヨガや体操などの自主事業を24企画実施した。しかしながら、コインシャワーが新事務所に併設されたことにより、練習や試合後のシャワー目的のかわQホール利用者が流出したため、利用者が減少した。(利用者数43,451名(前年比83.6%)) (かわQホール) ●富士見公園再編整備や全国都市緑化かわさきフェアの影響により実施できない期間があったが、アメフトの拠点強化及びアメフトを活用した地域活性化を行うためXリーグとタイアップしたイベントを2企画実施し、多くの来場者を記録し賑わいを創出している。(アメフトを活用した地域活性化) ●障がい者に開かれた施設として、ペガールボール体験やパラスポーツ体験等を3企画実施し、パラスポーツへの理解と関心を高め、障がい者スポーツの普及に寄与した。(障がい者スポーツへの考え方と取組) ●広報活動について、スポーツ運営団体の独自ネットワークを活かして様々な媒体を通じて幅広く情報を発信している。 【利用者の意見・要望への対応】 ●維持管理に関しては、施設の適正な管理や日常の巡回清掃を実施するとともに、利用者からの陳情に素早く対応し、安心・安全・快適な環境を保つことを心掛けている。 【業務改善によるサービス向上】 ●空きスペースであった富士通スタジアムスタンド下のアップスペースを、スタジアムで開催される大規模イベントと並行して市民向け体験会、休憩所等で利用し、有効的に活用した。 【提案事業・自主事業の実施状況】 ●全国都市緑化かわさきフェアの開催に併せて「みどりの学習会(ミモザのスワッグ作り)」を2回実施し、新たにスポーツ以外の大人層の利用者の確保に努めるとともに、行政と連携し市政100周年記念の機運を高めた。(参加者数延べ60人) ●川崎球場の歴史を伝える常設展示やプロレスの聖地ならではのプロレスイベントを実施するなど、富士通スタジアム川崎の歴史的特色を活かすことにより、本市及び富士通スタジアム川崎の全国規模のプロモーションに努めた。 ●富士見公園リニューアルイベントと全国都市緑化かわさきフェアオープニングの10月19日に併せて「10.19イベント」を実施し、「川崎球場」を振り返りながら富士見公園の歴史や思い出を後世に伝えた。						

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	22 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	23 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2
	再委託管理	24 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	25 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安全・安心への取組	26 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	2	4	1.6
	コンプライアンス	27 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
	(評価の理由) 【適切な人員配置】 ●人員は、計画通りに配置されている。 【連絡・連携体制】 ●所管課との連絡・調整は、週に1度以上、電話、メール、会議等の目的に応じた適切な手段で密に行われている。 【再委託管理】 ●再委託先との連絡調整は月1回適切に行われている。 【担当者のスキルアップ】 ●全ての職員に対して、AED講習、コンプライアンス研修、人権教育、個人情報保護研修、普通救命講習、応急手当普及員講習、ふれあいネット操作研修を実施している。 【安全・安心への取組】 ●ヒヤリハットマップや事例集を作成し、事務所内で危険箇所等の事例の情報共有を行っている。 ●迷惑行為、事故及び災害等の危機管理マニュアルを整備し、すべてのスタッフが危機対応について共通理解と対応を行っている。 ●富士見公園再編整備のため公園利用可能範囲の変更があったが、利用サービスの低下を防ぐため、新たな運用方法の検討及び利用者に適切に周知を行うとともに、工事への対応や安全な動線の確保・整備を行った。 【コンプライアンス】 ●個人情報保護について、マニュアルを整備し研修を実施している。				
適正な施設の維持管理	施設・設備の保守管理	28 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3	3.6
	植栽管理	29 樹木や植栽を適正に管理しているか	6	3	3.6
	管理記録の整備・保存	30 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・記録されているか	4	3	2.4
	清掃業務	31 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	6	4	4.8
	警備業務	32 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	33 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
	(評価の理由) 【施設・設備の保守管理】 ●施設や公園の維持管理及び点検・整備については、事業計画に基づき適切に実施している。 ●施設・設備について、法令に基づく点検のほか、必要な保守・点検を行っている。 ●省エネ対策として照明のLED化や節電に努めている。 【植栽管理】 ●倒木対応や草刈り、剪定など樹木や植栽を適正に管理している。また、樹木の剪定などの要望にも迅速に対応している。 【管理記録の整備・保存】 ●点検記録、修繕履歴など適切に整備・記録し、指定管理者で対応可能のものは迅速な対応を行っている。 ●市民からの施設の苦情については、スタッフ間で共有するとともに、迅速かつ適切に対応を行っている。 【清掃業務】 ●清掃業務については、利用者の利便性を考慮し各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、必要に応じて再清掃を行うなど清潔な美観と快適に利用できる環境を維持している。 ●清掃担当事業者と週1回以上の打合せを行い、市外からも多くの方が来場する全国都市緑化かわさきフェア期間中については、清掃委託業者と事前に調整し、追加での清掃を行うことで来場者が多い状況でも清潔な状態を維持した。 【警備業務】 ●指定管理エリアの縮小後も、指定管理者による公園全体の1日4回の見回り及びカルッツ川崎や競輪場等の近隣施設と合同で富士見公園周辺の清活動を行う「プロビカ」を毎月実施し、公園美化の関心度を高める取組をした。 ●秋と春に開催された全国都市緑化かわさきフェアなど大規模イベントの開催時には主催や行政と連携し、来場者が多くても利用者が安全・安心して公園利用できるよう見回りを強化するなど適切に対応した。 ●トラブル発生を事前に防ぐため、神奈川県警察と連携し、公園内にパトカーを配置する「アクティブ交番」を導入し、治安向上に努めた。 【備品管理】 ●備品管理台帳を整備し適切に管理を行っている。 ●日頃の巡回時に消耗品の確認を行い、適切に補充を行っている。				

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 富士通スタジアム川崎の特性を活かした集客規模の大きいイベントや大会を開催することで地域一帯の賑わいを創出している。また、川崎市民を中心に夏祭り等も実施し、地域にも配慮した取組を実施している。
- 多くのメディアの撮影場所として使用されることとなり、全国レベルでの露出が増加し本市のシティプロモーションの観点でも貢献している。
- 所管課、富士見・等々力再編整備室及び市民文化局市民スポーツ室やスポーツ団体との連絡・調整を密に行い情報共有を適切に行っている。
- 指定管理エリアの縮小後も施設・設備の維持管理については、適切な保守・点検を行っている。
- 清掃業務については、利用者の利便性を考慮し、各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、1日4回の巡回清掃のほか、清潔な美観と快適に利用できる環境づくりを実施することで、利用者アンケートにおいても高い評価を得ている。
- 富士見公園再編整備のため公園利用可能範囲の変更があったが、利用サービスの低下を防ぐため、新たな運用方法の検討及び利用者に適切に周知を行うとともに、工事への対応や安全な動線の確保・整備を行った。
- 富士見公園再編整備事業と並行し、全国都市緑化かわさきフェア・市政100周年記念事業を、イベント実施期間外も行政と密に連携・協力し、臨機応変に対応した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 指定管理者の移行後も富士見公園を「緑」「活気」「憩い」「ふれあい」のある都心のオアシスとするため、更なる魅力の向上を目指すとともに適切な施設の運営管理を行っていくこと。
- 今後の台風被害や老朽化し破損した施設・設備について適切な保守管理を行うこと。また、日常の維持管理、施設点検などの安全管理を徹底すること。
- 利用者アンケートの結果を検証し、指定管理者移行後の取組に反映させること。
- 市と連携・連絡を密に行うとともに、富士通スタジアム及びかわQホール等の指定管理範囲において魅力ある事業を企画・実施し、地域のハブ機能を高め、地域住民に還元するとともに、公園内の賑わいを創出すること。
- 公園内の喫煙対策など、新たな禁止行為の取り締まりや、かねてより懸念事項であるホームレス対応などの行政課題について、引き続き、行政と連携・協力して取り組むこと。